

シャボン玉の中に入れてみよう

開催概要

分野	対象	人数	時間	講師/補助
物理	小1～小6	1クラス	1～2時間	1人

ねらい

シャボン玉がなぜできるのか、その科学的原理(表面張力、界面活性剤の働き)を実際にシャボン膜をつくったり、大きなシャボン玉をつくったりして学びます。さらに、自分が巨大なシャボン玉の中に入る非日常的な体験を通じて、科学の驚きと楽しさを体感します。

実施内容

- ①“水玉を転がそう”水の表面張力でつくられる水玉を布の上で転がします。
- ②“いろいろなシャボン玉をつくろう”三角錐や四角形の枠からどんなシャボン玉ができるか確かめます。そして、巨大シャボン玉づくりに挑戦します。
- ③“シャボン玉の中に入れてみよう”子ども用プールにシャボン玉液を入れて巨大シャボン玉の中に入ります。

使用する材料・道具

- ◆…主催者側準備物 ◇…学校側準備物
- ◆工作部品一式
- ◇大量のバスタオル(子ども人数×3枚)、水道、洗面器

その他



シャボン玉は、風の影響を受けるので、風が来ない場所が必要です。部屋一面にブルーシートを敷く必要があります。または、水が流せるガレージがベストです。天井は高いほうが良いです。主催者側から、4人以上の協力が必要です。

実施機関

科学実験チャレンジ塾

各地で実験教室や実験ショーを開催。“身近なところに科学がある”をモットーに、私たちの生活と密接に関わっている科学に気づき、なぜ?どうして?を考えるきっかけを提供